

備 風

BI

FU

2013・3月

岡山県環境整備事業協同組合



VOL.39

掲示板（事業活動）

浄化槽清掃実務に関する講習会

平成24年8月25日 岡山県環整協研修室

公益財団法人日本環境整備教育センター主催で中国地方各県より96名（内岡山県組合員42名）の受講者の参加で講習会は開催された。開講に先立ち、日本環境整備教育センター 大西建郎常任理事より主催者挨拶、続いて全国環境連中国地区協議会 武市美登会長代行より挨拶を頂いた。

講習会では、日本環境整備教育センター 久川和彦講師により、まず「コンパクト型浄化槽の概要と清掃方法の考え方」としてコンパクト型浄化槽の特徴・清掃実施時に注意すべき点を、型式ごとにプロジェクターを使用し、実際の動画を見ながら詳しく講義された。引き続いて「清掃の実務と清掃記録票への記入方法」として清掃記録票の記入例、管理業者との情報共有についての講義が行われた。

講義終了後に、地元の岡山県環境整備事業協同組合乗藤慎吾理事長が閉会の挨拶を行ない、引続き修了式が行なわれた。修了証書授与では、受講者を代表して田邊拓人様に修了証書が授与され、その後、受講者全員に修了証書が授与されて、本講習会は修了した。

縄手國雄



全国環境連第10回全国大会

平成24年10月10日 宮崎市 宮崎観光ホテル

全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会としての転機ともなる「第10回全国環境連全国大会」が開催された。大会式典に於いての式辞では最初に全国環境連 鳥越澄夫会長より大会に臨席を賜った国会議員の諸先生方を始め環境省職員、また地元宮崎県の河野知事県議会議員を始め各市町村長など多くの来賓の方々への感謝の意を示し、次に本大会のテーマ「守ろう水資源

つなげよう未来へ 災害に強い浄化槽」に言及し、併せて私たち浄化槽業界へ課せられた社会的責任を果たすため、未来の子供たちへ負担を残さない「循環型の社会づくり」の実現に向けての強い決意を確認した。挨拶に続いて、優良役員・従業員（総勢23名）への表彰が行われ、受賞者を代表して、岡山県の有限会社フレヴァン、別府氏より表彰への謝辞が行われた。次に「政府への要望決議」、「大会スローガン」の発表が行われ、「大会宣言」を乗藤理事が行った。内容は、「下水道事業普及に伴う我々業界への深刻な影響を再認識すると共に、業界の英知を結集させ一丸となってこの難局を乗り越っていかう」という旨の確認を行い、大会式典は終了した。会場を移動して講演が行われ、講演1では環境省大臣官房・廃棄物リサイクル対策部廃棄物対策課 松田和久浄化槽企画官による「最近の浄化槽行政の現状について」の講演が行われた。主な内容としては、現在の浄化槽の整備状況、法定検査の受検率、今後の浄化槽関連の予算等についての講演を頂き、また東日本大震災での浄化槽の被害状況の解説も併せて行われた。次に講演2として、グローバルウォータ・ジャパンの吉村和就代表より「持続可能型社会における水問題」をテーマに講演が行われ内容の主旨としては、世界の水資源の状況を踏まえた上での日本の水資源に関しての特異性についての説明が行われ、続いて重要性の観点から講演1と同様、東日本大震災関連の内容の講演も行われた。「大会懇親会」では多くの来賓の方々を交え、総勢500名を超える参加者で行われ、次年度は環境連中国地区協議会主催鳥取県環境整備事業協同組合担当で、開催場所を東京に移して開催されることも併せて報告され、盛会裏に全国大会は閉会した。

石原慎祐



岡山県環境整備事業協同組合 青年部研修会

平成24年12月14日 岡山県環整協研修室

青年部主催の浄化槽保守点検技術向上研修会が開催された。参加者は青年部員36名組合員、各社従業員を含め総勢85名の出席で行われた。開会挨拶では当組合八田高志副理事長が、「設置者の信頼を得るには組合員の技術向上が不可欠である。本研修会を通して自己研鑽を重ね、顧客の信頼を得ましょう。」という主旨の挨拶があった。研修は二部構成で行なわれ、第一部は講師に㈱ハウステック・エネルギー環境事業部環境開発設計部・和田康里技師をお招きし、「KTC 型浄化槽の維持管理・清掃について」と題して行われた。この浄化槽は汚泥貯留部を好気状態に保持することにより、汚泥を生物消化させ減量化するという特徴を備えたものであり、保守点検・清掃のポイントが写真や図を交えて分かり易く解説された。小型合併浄化槽でも次々と新しい技術を組み込んだ製品が開発されている。社内で勉強会を行うなど、担当者が知識を増やし、設置者に安心して浄化槽を使用していただけるように取り組んで行く事が大切であると改めて感じた。第二部は、「省エネ・エコドライブ講習会 ～燃費を上げる運転のポイント～」について、岡山三菱ふそう自動車販売㈱・部品整備部整備課・景山浩典課長代理から研修があった。燃費を向上させるポイントとしては、①加速はゆっくり・シフトアップを早めに（1500rpm 程度で）、②車速を10km/h 落とす（空気抵抗が車速の2乗となるため）、③エンジンプレーキをしっかりと使う（エンジンプレーキ時には燃料消費が0になる）、など具体的に説明があり、例として、年間燃料費190万円/台のトラックの燃費を10%改善することにより、19万円/台の経費削減、50台車両保有であれば950万円/年もの経費削減となることが示され、環境を考慮することが経営にも良い結果をもたらすこと等の確認を行うのに良い研修となった。最後に妹尾芳訓青年部長が、「今研修は実態に即した内容ですぐに現場での実践として生かせるものばかりであり、各社各人が学んだことを持ち帰りこれからの現場での礎として生かしてほしい」旨の閉会の挨拶を行い、研修会を終了した。



中島政也

「小型合併処理浄化槽清掃記録票」説明会

平成25年 2 月15日 岡山県環整協研修室

説明会は岡山県内組合員及び浄化槽清掃従事担当者の121名参加で開催された。開会にあたり当組合を代表して乗藤慎吾理事長が挨拶を行い、財団法人日本環境整備教育センター、岡山県、岡山市及び倉敷市のご指導及び関係機関との協議の上、記録票が作成された経過について説明した。続いて、寺尾常務理事が環境省通知による清掃内容の明確化を受けての統一した清掃記録票の作成に至った経緯の説明を行った。当日のテーマとして記録票作成委員会委員長別府理事（浄化槽保守点検清掃委員会・委員長）が清掃記録票の記入方法等について記録票項目細部に亘り説明を行った。説明会の重要事項としては連絡事項の欄で管理者（お客様）にわかりやすい言葉を使用した方が良いということ等が付け加えられた。また、質疑応答では記入欄の清掃業者から保守点検業者への連絡事項欄の運用面についての質疑等が行われた。説明会の閉会挨拶では岡井専務理事より、この研修会の受講内容を理解し、浄化槽清掃記録票を活用して、設置者に対する説明責任をより一層明確にする事、また実施開始時期については平成25年 4 月等を確認して閉会した。



中山稔之

行事予定

平成25年 3月 7日	全国環境連事務局長会議（東京）
3月14日	全国環境連第6回理事会（東京）
3月19日	組合第6回常任会・理事会（組合事務所）
5月 9日	全国環境連第1回理事会（東京）
5月13日	組合第1回常任会・理事会（組合事務所）
5月24日	全国環境連通常総会（東京）
5月28日	組合総会（岡山市）
6月 5日	全国環境連中国地区協議会第1回理事会
6月21日	全国環境連中国地区協議会総会及び第2回理事会（山口市湯田泉）
7月25日	全国環境連第2回理事会（東京）
7月30日	組合常任会・理事会（組合事務所）
8月 1日	全国環境連中国地区協議会第3回理事会（岡山市）

シリーズ第36回 水とくらし

乗藤 昭範

あえて、こどもの辞書をかりて「水」と「くらし」のことばを引いてみた。そこには、「水」とは、①水素と酸素からできた、色・におい・味のない液体。ふつうは冷たいものを指す。②液体。③大水。洪水。④すもうで、勝負が長引いたとき、しばらく休むこと。「くらし」とは、毎日をすごしていくこと。生活。また、お金の面からみた生活のようす。とある。私たちが毎日をすごしていく生活のなかでも、「水」を使ったことばがいろいろある。「水と油」「水の泡」「水が合わない」「焼け石に水」「水掛け論」「水を差す」「水増し」「水虫」「水ぼうそう」「水を向ける」「水も漏らさぬ」「立て板に水」「水に流す」(ほかにもありますが。)などが思い浮かんでくるが、こうしてみると、「水」は私たちのくらしのなかでは、なくてはならない非常に大切なものであるにもかかわらず、くらしのなかで使っている「水」をつかったことばは、どちらかといえば、あまり良いイメージがなく、ぞんざいに扱われているように思えてならない。なぜだろう…。お金の面からみた生活のなかでの「水」について、消費者庁からの情報によると、日本を100とした場合の水道料金の内外価格差指数は、アメリカ:57、イギリス:171、フランス:173、ドイツ:269であり、アメリカを除いた国で見ると水道料金はデフレである。アベノミクスで長期のデフレを脱却し、名目経済成長率3%を目指すことに期待するが、水道料金については、くらしのなかで、なくてはならない、非常に大切な「水」であるがために、行き過ぎたインフレにはならないように期待したい。

活 動 報 告

24. 8.25 浄化槽清掃実務に関する講習会（組合事務所・研修室）	12. 5 全国環境連中国地区協議会第4回理事会（岡山市）
9.13 全国環境連第3回理事会（福岡市）	12. 7 組合第4回常任会・理事会（組合事務所）
9.26 浄化槽保守点検清掃・適正化委員会（組合事務所）	12.14 組合青年部研修会（組合事務所）
9.28 組合第3回常任会・理事会（組合事務所）	12.19 浄化槽保守点検清掃・適正化委員会（組合事務所）
10. 1 第26回全国浄化槽大会（東京）	25. 1. 4 新年あいさつ（岡山市長）
（環境省廃棄物リサイクル対策部長表彰受賞：乗藤慎吾氏、山田英基氏）	1. 8 新年あいさつ（岡山県知事）
10.10 全国環境連第10回全国大会（宮崎市）	同 新年あいさつ（倉敷市長）
10.10 事業部統計報告会打合せ会議（山口市）	1.24 全国環境連第5回理事会、新春懇談会（東京）
10.17,18 第26回全国浄化槽技術研修集会（盛岡市）	1.30 全国環境連中国地区協議会第5回理事会（岡山市）
11.14,15 貯水槽清掃作業従事者研修会（組合事務所研修室）	2. 1 組合第5回常任会・理事会、新春懇談会（岡山市）
11.21 全国環境連第4回理事会（米子市）	2. 8 中国地区協議会（全国大会）相談員会議（鳥取市）
11.22 岡山県美作県民局長表彰受賞（近藤益巳氏）	2.15 「清掃記録票」説明会（組合事務所・研修会）
11.29 岡山県備前県民局長表彰受賞（八田勉氏）	2.22 全国環境連中国地区協議会青年部研修会（岡山市）
11.30 第9回全国環境連青年部研修会（福岡市）	2.26 全国環境連中国地区協議会第6回理事会
同 協同組合岡山市環境整備協会50周年記念式典	

編集後記

小型合併処理浄化槽清掃記録票が完成し、いよいよ運用に入ります。小型合併処理浄化槽保守点検記録票と合わせて顧客満足にとってより正確性を問われるものです。重要性を認識し、正確に運用をしましょう。



BIFU

Vol.39

発行日	平成25年3月28日
発行	岡山県環境整備事業協同組合
編集	機関紙担当理事 寺尾 邦弘
住所	岡山市南区山田290-2
tell/fax	086-282-6455/086-282-6685
E-mail	okakan01@poem.ocn.ne.jp
印刷	(有) A P プランニング